

南の風

満濃南小学校だより

第77号



発行日 平成21年
10月27日
発行 満濃南小学校

感じる心

校長 中家美廣

十月十六日、一日自由参観日に合わせて、体育館で「野菊の墓」のミュージカル公演を実施しました。これは、文化庁が後援している本物の舞台芸術体験事業の一環として行われているものです。昨年の「あらしの夜に」がたいへん良かったので、今年も応募しましたところ運良く当たりました。小学生向けの出し物をと希望していたのですが、決定通知には「ミュージカル・野菊の墓」と書いてありました。その通知を見て、小学生には難しいのではないかと特に低学年の子には分からないだろうと本校職員の気持ちは複雑でした。そして、劇団の人が事前打ち合わせに来たとき、「子どもを何人か出演させたい。」と言うので驚きました。ミュージカルですから、歌やダンスがあるのは当然です。それなのに未経験の児童を出演させるというのです。「だいじょうぶかな。」と内心不安もありましたが了承しました。出演することになった児童は、打ち合わせに来たときと本番当日の昼休みに劇団の人の指導で練習をしました。そして本番は、御覧になったとおりです。本校児童は度胸があると言うか本番に強いと言うか、見に来てくださった保護者の方も感激したとおりのすばらしい演技を見せてくれました。

「野菊の墓」は、伊藤左千夫の有名な小説で明治という封建的時代の農家を背景に描かれています。読んだことのある人は知っているでしょう。政夫と民子の悲恋物語です。私も中学時代に読んだのですが、ミュージカルは原作とは違って、四十一歳になった政夫の回想という設定で始まりました。踊りながら歌う子どもたちもすばらしかったです。

子どもころの政夫と民子を演じた六年生のふたりも迫真の演技でした。ミュージカルを見ていた保護者の中には目を潤ませていた人が何人もいたようでした。そして、終わってから、「よかった。感動した。」という保護者の方の感想があちこちで聞こえました。

しかし、職員室では、「やっぱり低学年には難しかったな。」という声が聞こえました。私も五、六年生は楽しめたかも知れないが低学年には難しい内容だったと思います。静かに行儀よく見ていた子どもたちにとっての一分四十分は長かっただろうと思うと、よく我慢できたということに感心していた先生もいました。

帰りの準備をしている教室を見に行くと、帰りかけた一年生の教室で一人の女の子が涙を流しながら泣いていました。「あれっ、どうしたの？」と聞くと、学級担任の宮崎先生が、「感動して泣いているんです。」と言いました。

「一年生なのに感性豊かなんだね。」

この子が何をどう感じたのかは分かりませんが、涙が出るほど感じたということはとてもすばらしいことだと思えました。かわいそうな劇を見てかわいそうと感じ、涙を流す一年生の素直な心を、私はとてもうれしく思いました。

もしかすると、我慢して静かに見ることができたと思っただのは大人から見た子どもの姿であって、実はほかにこの子のように感動しながら見た子もたくさんいたのではないかと、そう考えると感性を育てるのは年齢ではないのではないかと思えました。子どもは、本来素直な心を持っていると信じ、その素直に感じる心を大切に、まっすぐに育てたいものだとあらためて感じました。



思い出の運動会



がんばったうどんどう会
二年 古川 聖一郎
ダンスが、本ばんで一番きれいにおどれたのがうれしかったです。また、色べったいこうりレーで、一いになれたのもうれしかったです。でも、ちくたいこうりレーやつな引きは、がんばりましたが、二いだったのがざんねんでした。

おどり
一ねん 木むら ももか
うんどうかいでおどりやりレーがたのしかったです。とくにおどりの『かぜのむこうへ』は、ポンポンをもって、のりのりでおどりました。『じょうずだね。』とおうちの人もほめてくれました。



ワッショイ作戦で

五年東組 亀井 嵩人
九月二十日の運動会、ぼくが一番に残ったのはつな引きです。ぼくの色は優勝を争いました。初めは、ずりずりと相手に引っぱられました。でもみんな、
「ワッショイ・ワッショイ。」
と声をかけながら引っぱっていくと、しだいに力が強くなり、ついに逆転。優勝することができました。心が一つになれました。来年もみんなで心と力を合わせ、優勝したいです。

がんばったよ！運動会！

四年 中山 紗希
わたしが一番がんばった種目はダンスです。おどっている時に、何度も隊形移動があったけど、友達との間かくをつめすぎないようにしました。また、音楽をよく聞いて、リズムに合わせておどることができました。
ダンスの他に、つな引きや安全パレードなどでも、千パーセントの力を出しきりました。来年は、千パーセント以上出したいです。

全力でがんばった運動会

三年西組 塚本 滉大
ダンス「満濃池ととも」でがんばったところは、手をあげたときしつかりと指先を見ることが、全力で走っていどうすることです。指先に力を入れてのばすのはいたいたいけれど、あきらめずがんばりました。
つな引きや交通安全パレードも一生けん命したので、心に残る運動会になりました。



最後の運動会

六年西組 高田 源士
今日の運動会は、今までの中で一番楽しかったです。その中でも思い出に残ったのは、金ばつのかざりをかぶって踊ったことです。音楽に合わせて踊ると気持ちよかったです。組み立てではいつも土台で足がいたかったです。けれど、みんなもいたさにたえていたので、ぼくもがんばりました。色別対こうりレーや綱引き、騎馬戦は得点に関係するの
で特にがんばりました。
小学校最後の運動会、ぼくたちのチームは優勝できなかったけれど、



リレー

一ねん すえひさ こうすけ
 いるべつたいこうリレーでオレ
 ンジがーいでした。ピンクにぎりぎ
 りでかってうれしかったです。
 らいねんもかちたいです。らいね
 んは、ちくたいこうリレーのせんし
 ゅにもなつてはしりたいです。

がんばった運動会

三年東組 三原 聖捺

運動会では、ダンスでさいこのう
 せいかを発ぎできました。体をのぼ
 すところはびんとおぼしたりまげ
 るところはしっかりとまげたりして
 がんばりました。特に「あらし」の
 場面は、リズムにのつて力いっぱい
 表現しました。地区たいこうリレー
 では、わたしは四年生と走りまし
 た。妹がトップで走っていたけれ
 ど、わたしが四年生に負けてしま
 いました。でも、チームは二番で決勝
 にのこりました。今日の運動会は心
 にのこるいい運動会になりました。

心に残る運動会

五年西組 宮田 栞里

わたしが一番心に残ったのは組
 み立て体そつです。組み立て体そつ
 は、今年初めてだったのできんちよ
 うしたけれど、今まで汗をかきな
 がらがんばって練習したので、成功で
 きました。ダンスのボール投げも、
 落とさずにキャッチできました。け
 れどそれよりも、たい場の時のみん
 なのあたたかい大きなはく手が何
 よりも一番うれしかったです。

たのしかったうんどう会

二年 曾川 藍

わたしははじめに、「風の
 むこうへ」を一・二年生で
 おどりました。つぎに、親
 子たつきゆうびんをしまし
 た。それから、色べつたい
 こうリレーをしました。お
 母さんが見に来てくれたの
 で、うれしかったです。た
 くさんの人が見てくれたの
 もうれしかったです。



運動会でがんばったこと

四年 西川 勇平

ぼくががんばったことは、三つあり
 ます。
 一つ目は、リレーです。練習の時よ
 りも手をしっかりとふって走れたので、
 速く走れました。二つ目は、交通安全
 パレードです。うちわがよく見えるよ
 うに、うでのをのばして持ちました。三
 つ目は、ダンスです。予行の時よりき
 れいにおどれたので、よかったです。
 来年もがんばりたいです。

全力を出した運動会

六年東組 邊見 剛志

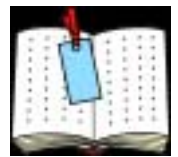
小学校最後の運動会でした。だからリレ
 ーは力一杯走りました。踊りはかつらがち
 よつと気になったけれど、近石先生や白川
 先生が前で踊っていたので、負けないよう
 にがんばりました。「鼓笛」もピシッとし
 て吹くことができました。「南ヶ原の戦い」
 では騎馬を作ったとき、落ちるかと思つて
 ドキドキしました。「綱引き」は決勝まで
 勝ち進んでいました。一回目も二回目もぼ
 くの色が勝ちました。最初から最後まで全
 力を出した最高の運動会でした。

今年の運動会のテーマ

「絆を深めて無限のパワー！燃えろ南の子！！」



読書の秋です



過ごしやすいさわやかな季節になりました。
「読書の秋」の到来です。
今回は、今年の春に文庫化された皇后美智子様「橋をかける子供時代の読書の思い出」をもとに、読書について考えたいと思います。

この本には、一九九八年にインドで開催された国際児童図書評議会（IBBY）での皇后様の講演が納められています。その当時、ニュースや新聞で御覧になった方や単行本でお読みになった方もおいでるのではないかと思います。

今振り返って、私にとり、子供時代の読書とは何だったのでしょうか。何よりも、それは私に楽しみを与えてくれました。そして、その後に来る、青年期の読書のための基礎を作ってくれました。

それはある時には私に根っこを与え、ある時には翼をくれました。その根っこと翼は、私が外に、内に、橋をかけ、自分の世界を少しずつ広げて育っていくときに、大きな助けとなってくれました。

読書は私に、悲しみや喜びにつき、思い巡らす機会を与えてくれました。本の中には、さまざまな悲しみが描かれており、私が、自分以外の人がどれほどに深くものを感じ、どれだけ多く傷ついているかを気づかされたのは、本を読むことによってもりました。

そして最後にもう一つ、本への感謝を込めてつけ加えます。読書は、人生の全てが、決して単純でないことを教えてくれました。私たちは、複雑さに耐えて生きていかなければならないということ。人と人との関係においても。国と国の関係においても。

「橋をかける 子供時代の読書の思い出」より抜粋

皇后様は、読書のために幼少期に活字に親しむことが何より大切だと話されています。皇后様御自身は、小学校の二年生くらいまでは御家族の方々が本を読んだりお話を聞かせてくれたりしたそうです。どうぞ、お子さんと本を読んで感想や感動を共有し、お子さんの読書の基礎づくりを支援してください。

11月行事予定

- 2日(月) 短縮午前授業 13時集団下校
- 12日(木) 短縮午前授業 13時集団下校
3西は、午後研究授業後下校
- 15日(月) 神野公民館祭り(5年餅つき)
- 18日(水) 学校ダンス発表会(3年)
- 21日(土) まんのう町文化祭(~22日)
(農改センター他)
- 28日(土) ファミリー体験学習 (1~3校時)
学級PTA 11:30~
バザール 12:05~
- 30日(月) 振替休業日



今月の題は、「運動会」です。

| | | | | | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--|------------------------------------|-------------------------------------|
| 金色の かつらかぶつて 輝いた 六年西組 篠原 駿介 | 青ピンク ボールの波が 青空へ 六年東組 鈴木 芹菜 | ピストルだ リレーのバトン 心のバトン 五年西組 切池 花恋 | 金カツラ 太陽めざして もう少し 五年東組 高田 海人 | 手をのばし かがやく手の平 見つめてた 四年 竹内 祥子 | 竹のぼう 風にひらひら ゆれている 三年西組 小松 大成 | パレードで うちわといっしょに がんばった 三年東組 兼若 那奈 | かちたいな 手がちぎれそう まっかつか 二年 平尾 郁也 | おとうさん ボールおとした はやくして 一年 川ぶちせいた |
|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--|------------------------------------|-------------------------------------|